

Weekly Report

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19
名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創会立：1980年(昭和55年)1月10日

会長：亀井 直人

幹事：鳥山 政明

クラブ委員長：杉山 裕一

例会日：毎週木曜日 PM12:30～

会場：ヒルトン名古屋

2025-26年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しむ!」

2025-26年度

国際ロータリーのテーマ

よいことのために手を取りあおう

第2137回例会

～母子の健康月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2025年7月3日(木) 晴 第1回例会

司会：星野一郎 会場委員長
斉唱：「君が代」「奉仕の理想」
ビジター：名古屋瑞穂RC 名誉会員 近藤 雄亮様
名古屋RC 平松 潤一郎様

会長挨拶

亀井直人会長

今期第47代会長を務めることになりました亀井です。よろしくお祈りします。前年度の大嶽会長、鈴木淑久副会長、近藤幹事お疲れ様でございました。前々年度会長の千秋さんにお声をかけていただき、今この場所に立っております。ある人から千秋さんのお声掛けを断ったら罰が当たるぞと言われ、最近ではめっきり聞くことなくなりました「罰が当たる」の言葉にあらがえず謹んでお受けした次第でございます。



瑞穂ロータリークラブには2000年7月に42歳で入会しロータリー歴25年となりました。入会のきっかけは前期入会された落合徹哉さんのお父さんであり元瑞穂ロータリークラブ会員の落合諭さんに誘っていただきました。落合さんとの関係は共通の得意先の親睦会がありまして、落合さんと弊社の先代が役員を務めておりました。またその親睦会の中にジュニア会というものがあり、私が会長を務めさせていただいていた時、落合さんと弊社先代との間で「息子さんロータリーどうかね」という会話がなされ私の意志とは関係なく入会することになりました。

右も左も分からずに入会し25年が経ちましたが瑞穂ロータリークラブにおけるゆとり世代の私は、残念ながらロータリアンにはなれておりません。平野さんの会長年度に副会長を務めさせてもらいこれでロータリーの役は上がりだと思っていたので焦っております。また先週の下期納会で千秋さんから「長い一年になりますよ。何かありましたら熱田神宮にお参りください」と言われました。この一年は熱田さんへお参りに行くことが多くなりそうです。

お受けした以上罰の当たらないよう頑張りますので皆さんご協力の程宜しくお願いします。

この後の卓話でRI会長のメッセージ、地区ガバナー方針そして会長方針を説明させていただきます。

バッジ伝達式



大嶽直前会長から亀井新会長へ、近藤直前幹事より鳥山新幹事へのバッジの伝達が行われました。

新会員入会式

新会員：水谷幸康さん



水谷幸康と申します。泉さん、加藤さんからご紹介いただき、名古屋瑞穂ロータリークラブに入会させていただきましたこととなりました。加藤さんから説明があったように、お酒は苦手ですが、そういう場に行くのが大変好きですので、お誘いいただければと思います。今まで大変不勉強でしたが、今日から心を入れ替えて勉強していきたい、皆さまから多くの学びをいただきたいと思っておりますので、皆様ご指導のほどよろしくお祈りいたします。

出席報告

今川知也 出席委員長

会員69名 出席55名 (出席計算人数58名)

出席率 83.33%

ニコボックス

今川知也 ニコボックス委員長

- 亀井会長、鳥山幹事、田中副会長、一年間頑張ってください。私は、先日昨年度最後の日に千秋さんからご招待を受け、熱田神宮で6月の大祓をしていただきました。今までの罪とけがれを祓い去っていただけるということで、清らかな体になりました。ありがとうございました。 **大嶽 達郎さん**
- 亀井ならびに、田中副会長、鳥山幹事を一年間よろしくお祈りします。 **亀井 直人さん**
- 今年度幹事を勤めます。一年間どうぞよろしくお祈りします。 **鳥山 政明さん**
- 皆さん、大変ご無沙汰しております。亀井さん、鳥山さんの大役無事成功しますように。お身体大切に頑張ってください。 **近藤 雄亮さん**
- 過日甲子園野球大会では、メンバーの皆様の活躍で0対3から見事7対4の大逆転勝利でした。対する広島北RCのメンバーの中には2～3名甲子園高校野球部OBも含まれている負けなしの強豪でした。勝利の瞬間には泣いて来ました。選手の皆様ありがとうございます。それと、亀井さん、田中宏さん、鳥山さん一年間お世話になります。 **松波 恒彦さん**
- 亀井会長、鳥山幹事一年間ご苦労様です。7月は私の誕生日です。 **渡辺喜代彦さん**
- 亀ちゃん、鳥ちゃん、宏ちゃん一年頑張ってください！7/1は私の76歳の誕生日でした。 **内田 久利さん**
- 妻の誕生日に素敵なお花をありがとうございました。また、本日より涼仙ゴルフ倶楽部の水谷幸康さんが入会させていただきました。よろしくお祈りいたします。 **加藤 直大さん**
- 妻の誕生日にお花をありがとうございました。先日の甲子園の大勝利に感激でした。名誉監督賞をいただきました。 **今川 知也さん**
- 本日から新年度、亀井会長、鳥山幹事を陰ながらお支えいたします。 **田中 宏さん**
- 先日の甲子園野球大会では、強豪の広島北RCに大逆転勝ちをしました。野球部の皆さんお疲れ様でした。そしておめでとう！あっぱれ!!近藤バスターガーようこそ。 **野崎 洋二さん**
- 亀井年度の出発を祝して妻は77歳になります。 **天野 正明さん**
- 亀井さん、エース登場で楽しみにしています。 **堀 慎治さん**
- 亀井会長の船出を祝うかのように、野球部は強豪広島北RCを激戦の末7対4でやぶりました！ **鈴木 淑久さん**
- 家内の誕生日に綺麗な花をありがとうございました。野球部の甲子園勝利おめでとうございました。 **近藤 茂弘さん**
- 亀井会長一年間よろしくお祈りします。甲子園大会勝利おめでとうございました。強敵でした!!体が痛いです。 **村上 学さん 福岡 逸人さん**
- 会場委員長を拝命しました。一年間よろしくお祈りいたします。 **星野 一郎さん**
- 亀井会長、鳥山幹事、役員の方皆さん今年度一年頑張ってください。 **泉 憲一さん**
- 新会長、新幹事、期待してます。新たな一年よろしくお祈りします。 **鈴木 健司さん**
- 亀井会長、鳥山幹事、田中副会長、いよいよスタートです。応援しています。

千秋 季頼さん	森 恒夫さん	稲葉 徹さん	伊藤 豪さん
市岡 正蔵さん	岩田 修司さん	長瀬 八郎さん	鈴木 雄三さん
湯澤 信雄さん	梅村 昌孝さん	湯澤 勇生さん	安井 友康さん
長谷川 隆さん	萩原 孝則さん	松田 浩孝さん	本多 誠之さん
岡部 光邦さん	北岡 寿人さん	新見 光治さん	渡邊 将之さん
杉江 建亮さん	長野 義明さん	横山 請悟さん	後高 俊哉さん

幹事報告

鳥山政明幹事

- 7/3(木) 19:30～20:30 熱田RAC例会「ウインクあいち 1003」(担当:松田浩孝さん・横山請悟さん)
- 7/7(月) 16:30～瑞陵高校IAC例会 瑞陵高校社会科室(担当:亀井直人会長・杉江建亮さん)
- 7/10(木) 12:30～ 通常例会ヒルトン4F「桜の間」
13:40～ 第1回クラブアサンプリー 第1回理事会 ヒルトン4F「美杉の間」
- 7/17(木) R規定により休会
- 6/24に友好クラブ台北延平RCの元会長NICEさんがご逝去されました。当クラブからは、前会長大嶽さんより弔辞をお送りさせていただきました。会員皆様にはメールでご連絡させていただいておりますが、個別にメッセージ・供花等される方はご対応お祈りいたします。
- 7/3配布予定:2025-26年度ガバナー月信7月号 一部訂正箇所あり
〔訂正内容〕P36「2025-26年度ガバナー補佐訪問日程表」
9月16日へ 名古屋須須口ロータリークラブを追記
- 名古屋栄RCのビジターフィーが変更となりました。前4,100円 後7,000円(通常が夜間例会) クレストンホテルから東急ホテルへ7月より変更。

年度初め乾杯挨拶

大嶽達郎 直前会長

亀井会長、そして高山幹事、田中副会長の門出をお祝いいたしまして、また会員の皆様全員の新しい委員会での活躍で、素晴らしい年度になりますようご祈念申し上げまして頑張りたいと思います。乾杯!!

委員会・同好会報告

ダイビング同好会

今週7月5日、宮古島のいんかじというお店で18時から総会をさせていただきました。ご参加の方は体調に十分気を付けて来ていただけて良かったです。お持ちしております。

松波恒彦さん

欠席が続いている鈴木伸一さんですが、本人からも皆様によるしくというお電話がありました。先月の26日に手術をして、そして一昨日退院をしております。会員の皆様方から聞かれますので、ここで皆様にご報告させていただきます。

7月誕生日おめでとう

内田 久利さん 佐治 寛行さん 渡辺喜代彦さん
安井 友康さん 湯澤 信雄さん 小栗 栄治さん

卓話

亀井直人会長

最初にRI会長のメッセージとガバナー方針をお伝えして最後に名古屋瑞穂ロータリークラブの会長方針、活動方針をお伝えしたいと思います。

先月の6月10日に2024-25年度RI会長ステファニーA、アーチックさんより突然メールが届きました。マリオ・デ・カルガロ会長エレクトから個人的・ビジネス面の懸念より2025-26年度RI会長を辞任するという内容でした。

そして6月14日に再びメールが届きました。ア、ラゲルサ・ロータリークラブ所属のフランチェスコ・アレツツォさんが2025-26年度RI会長に選出されたことと2月の2025年国際協議会で発表された2025-26年度会長メッセージである「よいことのために手を取りあおう」はそのまま継承されることと事でした。そして7月1日にフランチェスコ・アレツツォ会長からメッセージが届きました。フランチェスコ・アレツツォ会長の経歴を簡単に紹介した後、メッセージをお伝えしたいと思います。

略歴

*イタリア、ラゲルサ・ロータリークラブ所属 *矯正歯科医
*イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科医のメンバーとして国際的に活動
*ラゲルサ県のNational Association of Italian Dentistsの副会長であり、National Trust for Italyの創設者であり、同団体の7年間ラゲルサ県を代表しました。
*マルタ主権騎士団の騎士 マルタ騎士団は、正式名称を「エルサレム、ロードス及びマルタにおける聖ヨハネ騎士修道会」といい、11世紀に設立されたカトリックの騎士修道会です。
*夫人はアナ・マリア・クリンオーネさんで二人のお子さんがいます。

メッセージ

親愛なる友人の皆さま

2週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行きの飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるのです。今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います。「よいことのために手を取りあおう」シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り組み、日々の奉仕、入会して新しい新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や称賞のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。しかし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもありますが、ロータリーではより大きな視点から求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てください。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まるものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。どのように耳を傾け、サポートし、奉仕するかというところから始まるのです。今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れるクラブとなり、1年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっという間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、未だインパクトを生むことができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないようにしましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけにはいきません。世界の子と私たちの約束を守らなければなりません。

また、ロータリーは1世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました。人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できな思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために「よいことのために手を取りあおう」ではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年をいたしましょう。感謝と敬意を込めて。

続きまして、国際ロータリー第2760地区2025-26年度ガバナーは、鈴木康仁さんです。1957年2月15日生まれ、所属クラブは蒲郡ロータリークラブ、株式会社鈴木新聞館の代表取締役です。1997年に蒲郡ロータリークラブ入会、2012年に幹事、2017年に会長をされております。

【2025-26年度地区方針】

スローガン・基本理念「ともに学び、ともに地域社会に貢献しよう！」

～夢と希望に満ちた未来の実現に向かって絆を深め、奉仕の歯車を力強く廻そう～

ロータリーに所属する意義を改めて問い直し、自分自身がなぜここにいるのかを深く考えることか

ら始まります。ロータリーは、互いに学び合い、楽しみながら成長できる仲間たちと出会える場であり、地域社会の発展に真剣に取り組む団体です。

3年計画(3Years Goals)による成長戦略

クラブが継続的に発展していくためには、短期・中期・長期的な視点を持ち、社会のニーズに応える柔軟性と自己評価・改善のサイクルが不可欠です。この3年計画こそが、未来のビジョンを描きながら、持続可能なクラブづくりへの鍵となります。

地域と世界の両面からのアプローチ

ロータリーは国際的な奉仕団体です。地域社会への貢献はもちろん、世界にも目を向け、特に「ポリオ根絶」という世界的な使命に取り組んでいます。この活動はロータリー財団の支援を受け、会員の寄付によって成り立っています。使命を全うするため、立ち止まらずに歩みを続けなければなりません。

ポリオ根絶への特化体制「TEAM SUZUKI」の設立

2025-26年度は、地区としてこの運動に新たな形で注力します。「TEAM SUZUKI」はポリオ根絶に焦点を絞った専門チームであり、ガバナー、ガバナー補佐・地区幹事、資金推進委員会、ポリオプラス/職業研修チーム委員長、公共イメージ向上委員長、地区ロータリー奉仕委員長、地区ラーニングファシリテーター、で構成され、クラブと協力して地域社会への啓発活動を進めます。WFF・RFF 事業もこの取り組みの一環として、通年活動に進化させていきます。

会員増強と“ご縁”の力

RI会長は「会員こそロータリーの宝」と強調され、「よいことのために手を取りあおう」というメッセージを掲げています。鈴木ガバナーの好きな言葉という事で「縁を機軸」(良い縁がさらに良い縁を尋ねて発展していく様は妙なるものである)「多逢聖因」(いい人に交わっていると良い結果に恵まれる)「錯集文成」(社会というは異なる人同士が集まり、意見が違つうからこそ議論が成り立ち、発展性がある)これらの言葉に象徴されるように、一つ一つの出会いやつながりが新たな機会と成長の芽になります。探求心を持ち、広く深くご縁を育て、そのご縁に感謝しながら、社会へ貢献していく姿勢が求められています。

地区の役割と活用

地区は、84のロータリークラブ・9つのロータリーアクトクラブのためのリソースです。クラブの課題や挑戦とともに乗り越え、会員が成長し、互いに学び合える関係を築く支えとなります。

【活動方針】

- ①クラブ:四つのテストの心で互いに接し、絶えず変化する会員のニーズや期待に応え、会員が帰属意識をもって素晴らしいロータリー体験ができるクラブとしましょう。
- ②新たな形態のクラブを創設しましょう。ロータリーの中核的価値を大切にDEIの行動規範をもとに、従来の形式にとらわれない新たな形態のクラブの設立を企画して下さい。新たなクラブについて広報してください。
- ③ポリオプラスに貢献して下さい。10月24日は世界ポリオデーです。クラブ単位でも積極的に世界ポリオデーに参加してください。
- ④「ロータリー財団が自分たちのものであることを忘れない」パリー・ラシン2023-24年度管理委員長が述べています。財団に寄付して支援しましょう。ポール・ハリス・ソサエティ、ポリオプラス・ソサエティの参加者を増やしましょう。
- ⑤平和構築への貢献未来を託す青少年の育成プログラムに積極的に関わって下さい。平和を思う心を忘れず常に平和構築を心がけてください。
- ⑥ロータリーアクトクラブとの連携ロータリーアクトクラブが地域、世界でインパクトある奉仕活動が自立的にできるように関わりを増やし、帰属意識をもって活動できるように支援を強化しましょう。

続きまして、瑞穂ロータリークラブ会長方針です。私が本年度の会長方針として掲げたのは、「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しむ」でございます。最近瑞穂ロータリークラブは比較的若い方が入会しています。その方々はロータリークラブについて様々なイメージを持って入会されたと思います。「木を見て森を見ず」という言葉がありますが、ここでは「木を見て何ぞ森を見る」というスタイルでやってもらいたいと思います。森である「ロータリーとは何ぞや」という前には「木」である瑞穂ロータリークラブを嗅いで、触れて、味わって下さい。そうして瑞穂ロータリーへの理解を深めるとともに、楽しんで下さい。それから前向きな気持ちで活動に取り組み、キャリアを積んで「森」であるロータリーを理解してもらえたらと思います。

ロータリーの活動は、単なる奉仕活動や社会貢献にとどまらず、「親睦」を大切にすることで互いを理解し、信頼し合いながら、共に成長していくことにその真髄があります。したがって、今年度の活動方針として、以下の4つとしました。

1. 親睦を深め、理解しあおう

ロータリー活動の根幹には、人と人とのつながりがあります。例会で顔を合わせ、意見をかわし、食事を共にしながら、お互いの考えや背景を知る。それこそが、クラブの絆を強くし、活動をより豊かなものにしていきます。本年度も今まで通り例会や行事において、和やかな雰囲気の中で意見を交わせる機会を増やし、「このクラブにいてよかった」と思える空間を作ることができればと思います。

2. 会員増強、退会防止

クラブの持続的な発展には、何よりも“人”が必要です。多様な職業、年齢、価値観を持った新しい仲間が加わることで、私たちの活動はさらに活性化し、新たな視点や活力をもたらしてくれます。同時に、今いる会員一人ひとりが居心地のよさを意識を感じられるクラブ運営を目指したいと思います。退会を防ぐには、「理解」と「共感」、そして「楽しさ」が必要です。楽しくなければ会員候補に対して入会を勧められません。

3. 台北延平RC、国内友好クラブとの親睦・友好を深めよう

瑞穂ロータリークラブは、台北延平RC、福岡西RC、札幌手稲RCと友好関係を築いてきました。これらの関係は、単なる儀礼的なものでなく、ロータリアン同士の心の通った交流の場でもあります。本年度は、これまで培ってきた関係をさらに深めたいと思います。特に今年の国際大会は台北で開催されます。多くの方に参加してもらえたらと思います。

4. 「四つのテスト」の実践

ロータリアンとしての行動規範である「四つのテスト」は、私たちの日常においても、仕事においても、判断の軸となるものです。・真実かどうか・みんなに公平か・好意と友情を深めるか・みんなのためになるかどうか

このシンプルでありながら深い問いかけを、日々の生活やクラブ活動に照らし合わせることで、ロータリアンとしての自覚を新たにしたいと思います。例会や奉仕活動、親睦活動などを通じて「楽しい」「学びがあった」「やってよかった」と思える経験を積み重ねていくことで新機軸「大の里」の機軸昇進時の口上の様に瑞穂ロータリーが皆さんにとって唯一無二のクラブになればいいと思います。

最後に、今年度の運営にあたり、役員・理事の皆さま、そして会員の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。ともに瑞穂ロータリーを深く理解し、大いに楽しみましょう。

例会のご案内

■今 週 7月10日(木) 会長エレクト卓話

場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」

時 間: 12:30~

■次 週 7月17日(木) R規定により休会

■次々週 7月24日(木) 第1回CF(決算・予算)

場 所: ヒルトン名古屋4F 「桜の間」

時 間: 12:30~